



12/7

今年も温かいまごころが集まりました

茂原市長寿クラブ連合会が「まごころ募金」を寄付

茂原市長寿クラブ連合会は、市内12地区に分かれた56単位クラブで組織されています。その会員1,545人から1年間を通して寄せられた56万5,159円を、「まごころ募金」として茂原市社会福祉協議会の「歳末たすけあい運動」へ寄付しました。

この活動は社会奉仕活動の一環として40年以上続けられており、集まった募金は市内の福祉活動に役立てられています。

市役所で山積みになった硬貨の仕分け作業を行った後、岩名地副会長から茂原市社会福祉協議会田中副会長へ目録が手渡されました。



▲目録を持つ連合会岩名地副会長(左)と社協田中副会長(右)



▲プラグインハイブリッドEV車の説明を受ける田中市長

長期停電への備え

災害時における電動車両等の支援に関する協定を締結

12/17

市では、千葉三菱コルト自動車販売株式会社および三菱自動車工業株式会社と、「災害時における電動車両等の支援に関する協定」を締結しました。

本協定は、災害時に市が円滑な災害応急対策を実施することを目的として、電動車両等の貸与について必要な事項を事前に定めたものです。これにより、災害による停電時に電動車両等の貸与がより迅速に行えるようになります。

12/19

自分の身を自分の努力によって守る

茂原市地域防災訓練を実施

市内高師地区を対象に、長生高等学校と萩原小学校にて、地域防災訓練が実施されました。当日は、新型コロナウイルス感染症対策のため参加人数を制限した上で、住民57人と千葉県災害対策コーディネーター茂原などが参加しました。

実際の避難所運営を想定し、住民自身で試行錯誤しながら簡易トイレの組み立てなどを実施したのち、千葉県災害対策コーディネーター茂原から応急手当の講義を受けました。

世界中で自然災害の脅威が大きくなる中、とても有意義な訓練が行えました。



▲ダンボールパーティションの組み立て訓練



▲田中市長へ中田会長より提言書を提出

第5次茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議

「本納駅東地区のまちづくり提言」を市へ提出

12/24

第5次茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議は、都市計画マスタープランの実現に向けた取り組みとして、市民が主人公となるまちづくりを推進するため、平成31年1月に設置されました。

本納駅東地区について19人の委員が、茂原市都市計画マスタープランに則り、調和のとれた多様な顔を持つ、魅力と利便性にあふれたまちの実現を果たすためには、どのようにしたらよいかを模索しながら活動してきました。

この度、3年間の成果として作成した「本納駅東地区のまちづくり提言」を市へ提出しました。